

★漢方あれこれ★

◆気血水◆ 「血」のはなし

太田 順康

前回の「気」と違って「血」は判り易い概念です。

身体の中を循環して、生命力の維持や、防御力などを担っているものに「気・血」があります。その内「血」は「気」によって運行される体液を言います。

「血」は広い意味では体液全体を表し、栄養、生活現象を担っています。

「血」の内、細胞液、リンパなど色の無いものを「水」として分離して、血液、血管、血流、循環器系とそれらの働きを言うようになりました。

「血」の変調には、出血、貧血、血虚、鬱血、瘀血、などがあげられます。出血、貧血は現代医学とほぼ同じ意味です。

血虚＝身体の隅々まで正常な働きをする血液が来ていない状態をいいます。冷え症の原因になります。

鬱血＝身体の末梢まで来た血液が戻りが悪く、正常な働きを無くした血液が末梢に残った状態をいいます。冷えのぼせの原因になります。

瘀血＝汚血と同じ意味ですが、鬱血の状態が長引いて塊になったり、乾いた状態を言います。打撲で黒にえになったり、産後の養生が悪く後産が残ったからと言われる「悪露不尽」状態で、狂の如しと言われるような精神状態を呈することが多くなります。血行障害、月経障害や顔面・舌・唇・歯茎・爪甲の色が暗赤色や紫がかって来ます。

また溢血傾向、各種出血、皮下出血、化膿症など。

その他頭痛、めまい、肩凝り、耳鳴、動悸、しびれ、冷え、ほてり、皮膚のムズムズ感なども「血」の変調として扱います。イライラ、多怒、ヒステリー、無気力、などの精神状態も「血」の変調です。

これらを総称して「血の道」と言っている場合もあります。

これらの変調が見られると、赤い花の咲く、牡丹皮、桃の種、紅花、蘇芳の木、などの配合された薬方を使います。№2 5 桂枝茯苓丸、№6 1 桃核承気湯、№2 4 加味逍遥散、№1 0 5 通導散などがそうです。

血虚や貧血で顔色が青白くなっていると、当帰、芍薬、地黄、血を活かす薬を使います。№2 3 当帰芍薬散、№7 7 芍帰膠艾湯、№7 1 四物湯などがそうです。

漢方では膿は血の滞った所に熱が入って白い膿になると考えています。おできが赤く腫れて、熱を持っているから

新刊!

太田先生の
「くらしの
薬草と漢方薬」

ハーブ・民間薬・生薬
B5版・総頁382頁
価格 3,300円＋税



新日本法規出版



お知
らせ

竜潭洞

すこやか教室 山歩き

☆天高く馬肥ゆる秋です。今年の紅葉はややくすんだ感がありますが、百々々峰もきれいになってきました。10:30に出発します。

7日(金) 21日(金) 28日(金)

8 漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範、岐阜県漢方研究会会長、岐阜薬科大学「漢方学」講師)

今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

10日(月) 17日(月) 27日(木)

8 11月の休診日

3日(月) 14日(金) 24日(月)

8 今年度の健診予定

お手元の受診券をご持参の上、お越しください。

◎ぎふ・すこやか健康診査:

9月1日～11月30日

<対象者>

・後期高齢者医療制度に加入の岐阜市民の方

だと思います。ところがお乳も血液に陽気(熱)が入って白い液体のお乳になると考えています。

従って排膿に使う薬と催乳に使う薬が同じであることが多くあります。前にお話したセンザンコウ、蜂の巣がそうです。(つづく)